

豊中市市民ホール
令和元年度（2019年度）
事業報告書

令和2年5月

豊中市市民ホール指定管理者

JTB・日本センチュリー・日本管財・大阪共立グループ

豊中市市民ホール 令和元年度（2019年度）事業報告書

【目次】

1. はじめに（事業の総括）	2
2. サービスレベル評価項目の目標達成状況について	4
3. 市民ホールの基幹事業（文化振興事業）に関する業務	
1) 人材育成・ボランティア組織コーディネート事業	5
2) 鑑賞事業の企画・実施	5
3) 普及育成事業、その他の事業	9
4. 施設の運営に関する業務	
①貸館事業（施設の提供）	12
ア) 施設利用状況表	12
イ) 施設来館者数集計表	13
ウ) 各施設の利用状況について	14
②情報提供事業	15
ア) 地域文化芸術情報の受発信	15
イ) ホール情報紙やホームページ等を通じた施設情報の提供	15
③相談事業	15
ア) 施設利用に関する相談・アドバイス業務の実施	15
イ) 専門人材によるディレクターズ・オフィス機能の活用	15
ウ) アーティスト・アーカイブス（登録アーティスト制度）の活用 等	15
④「友の会」運営業務	16
⑤広報・宣伝事業	16
ア) 施設 WEB ページの運営	16
イ) 情報誌、催事情報カレンダーの作成・発行	16
ウ) 施設パンフレット、利用案内リーフレットの作成	17
エ) チラシ・ポスター等の作成	17
オ) フェイスブック・ツイッター等 SNS による広報・宣伝活動	17
5. 施設及び設備の維持管理に関する業務	20
①舞台の管理に関する業務	20
②施設及び設備の維持管理に関する業務	20
③行政財産の使用について（コミュニケーションロビーの活用）	21
④託児及びキッズルーム	21
6. 運営組織についての報告（職員の研修の取り組みなど）など	22
7. 収支報告書	24

1. はじめに（事業の総括）

豊中市市民ホール指定管理者 JTB・日本センチュリー・日本管財・大阪共立グループは豊中市より豊中市市民ホール指定管理者として指定を受け、「豊中市市民ホールの管理運営に関する基本協定書」、「同年度協定書」および、「令和元年度事業計画書」に基づき、施設の管理運営業務を行った。基本協定書第 25 条の規定に基づき、指定管理者による豊中市市民ホールの令和元年度業務実績を以下の通り報告する。

市民ホール指定管理業務 4 年目にあたる本年度は、前年度に行われた指定管理者選定評価委員会（中間評価）での評価内容をふまえ、改善にむけた取り組みを推進するとともに、市文化芸術推進プラン（改訂版）に示される目標やさらなるサービス水準の目標達成に向けて施設運営ならびに事業運営に取り組んだ。

施設運営においては、引き続き利用者の視点にたったきめ細やかなサービス提供や、催事支援等の活動に取り組んだ。今年度も施設利用率は年間を通じて高い水準で推移し、十分な成果の獲得を得ることができた。

なお、2 月下旬から 3 月の年度末にかけては、全国で広がった新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館利用のキャンセルや公演催事の延期および中止が多発し、それらへの諸対応や業務に追われることとなった。今後は、市民に安全で安心な施設やサービスを提供するための措置を継続的に行うとともに、様々なリスクに備えた環境整備やガイドライン等の策定等に取り組んでいきたい。

文化振興事業の取り組みでは、新たな人材育成事業である「とよなか ARTS ワゴン」を本年度より開始した。外部よりプログラムディレクターを招き、より実践的な研修プログラムを通して 3 名のレジデント・アーティストの育成に取り組むとともに、12 月には市内小学校へのアウトリーチ活動を行った。また、広報・宣伝事業の新たな取り組みとして、「夏休み子ども企画 2019」と題した PR 活動を実施した。連続する公演のスタンプラリーを行い、スタンプの数で記念品を贈呈したことで、夏休みに実施した各イベントに多くの親子の来場者を迎えることに成功した。

なお、2 月下旬以降の主催公演は、前述の通り、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または延期の対応としたが、指定管理者共催公演である「センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.13」は、多方面の協力を得て、無観客のライブ配信公演として開催した。インターネットを通じて、延べ 12,000 人余りが視聴し大きな反響を得ることとなった。

友の会「club CaT」の運営では、チケットの先行予約や優待販売だけでなく、入会キャンペーンなど付加価値を付け加えたサービス提供や近隣優待店舗等との連携による優待サービスの拡充に取り組み、目標とするサービス水準を達成することができた。

施設管理業務においては、常に施設の良好な状態を維持すべく適切な施設管理に努めた。年間を通じて大きな事故やトラブルもなく、市民の快適で安全な利用についても成果を残すことができたと考える。今年度も想定以上の稼働率の影響で一部の設備や楽器等に不具

合が発生したが、速やかな修繕対応など適正な措置を行うことができた。

事業収支および経営面では、利用料金収入の確保とあわせて、施設管理費の縮減による安定的で効率的な運営を達成することができたが、収支ともにいくつかの項目で計画数値より差異が生じた。利用料金収入においては、文芸センター3ホールの施設利用が高い稼働率で推移したことにより、年間計で予算額を大きく上回る収入があった。一方で、第3四半期は新型コロナウイルスの影響により、前年より7,000千円超の減収となり、決算数値に影響がでた。事業収入については一部の公演でチケット収入が伸びず計画より減収、友の会収入も当初目標額に届かなかった。

事業費では公演数の増加にともない会場使用料が当初計画より増加したが、経費計画の見直しや共催事業の活用、助成金の獲得などが奏功し、事業財源については、概ね当初予算額の範囲で執行することができた。なお、2月、3月の催事については、新型コロナウイルスの影響により大きく収支計画に乖離が発生した。

施設維持管理経費については、予約システムの整備改修費や施設の高稼働を要因とする費用増が一部の費目で発生した。全体の決算としては、第4四半期の利用料金収入の減収が大きく影響したが、最終的にはほぼ収支均衡の決算数値となった。

各事業および業務の取り組み実績については以下に項を分けて報告を行うが、いくつかの計画、項目で改善の取り組み未実施、目標水準未達など課題を残している。今年度の成果と課題の検証とともに、計画実施状況について適正に把握することで、指定管理最終年度運営への改善とさらなるサービス水準の維持向上につなげたい。

2. サービスレベル評価項目の目標達成状況について

サービスレベル評価項目	要求水準	R1年度目標	R1年度実績	目標達成率
① 4 ホールの年間平均利用率	70%	80.0%	87.5%	109.4%
② 大会議、会議・講座室の利用率	70%	80.0%	78.1%	97.6%
③ 3 施設年間来場者	381,000人	506,500人	477,148人	94.2%
④ ホール事業平均参加率	50%	70.0%	64.1%	91.6%
⑤ 友の会年間増加数（有料会員数）	毎年300人増	3,675	1,254	34.1%
⑥ 無料WEB会員数 ※提案項目	-	11,000	3,069	27.9%

(※年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)

豊中市市民ホールの指定管理業務開始にあたり設定した「令和元年度サービス水準目標」の達成状況について以下の通り確認する。

- ① 4 ホールの年間平均利用率は、87.5%（前年 86.4%）となり年度目標値を大きく上回る数値となった。ホール別では文化芸術センター小ホールが 100%と 4 ホールで最も高い数値を記録した。続いて中ホール 89.1%（前年 85.4%）、大ホール 82.3%（前年 86.4%）、ローズ文化ホール 78.7%（前年 79.8%）と、文芸センターではいずれも目標値を上回る数値を達成した。利用団体の定着化に加えて、開館から 4 年が経過し、施設の認知度、知名度が向上したことにより、安定的な施設利用につながったと考える。一方で、第 4 四半期は新型コロナウイルスの影響による利用キャンセルが多数発生し、利用日数、利用件数の減少とあわせて、利用料金収入が前年度に比して大きく減少した。
- ② 展示室、多目的室の利用率は 2 施設平均で 78.1%（前年 74.4%）と、昨年度に引き続き市要求水準を達成することができたが、一方で指定管理者設定の目標 80.0%には及ばなかった。このうち、多目的室の利用率は 84.2%（前年 80.4%）と大きく目標を達成し、展示室の利用率も前年を上回る 72.0%（前年 68.4%）の利用があった。多目的室は集会や企業研修など利用が増えている。また、展示室はその機能を活かした展示利用が年々増加傾向にある。引き続き、広報活動の充実により多目的室、展示室の利用促進に努めたい。
- ③ 3 施設の年間来場者数は 477,148 人（前年 530,805 人）と、市要求水準を達成することができたが、指定管理者設定の目標値には及ばなかった。未達の理由は、3 月度の利用が前年比 7%の 3,500 人程度になるなど、第 4 四半期の新型コロナウイルスの影響による多数の利用キャンセルが発生したことに起因すると考えている。

- ④ホール（鑑賞型）事業の平均参加率は64.1%と昨年度（66.8%）より微減し、目標水準にわずかに届かなかった。大ホールでのクラシック公演や中ホールでの映画上映会で目標に届かなかった公演が多くなったことが要因のひとつとして挙げられる。次年度以降は公演企画、価格設定、広報活動など見直すことで、集客力の向上を図っていきたい。
- ⑤友の会年間増加数については、令和2年3月末で有効会員数が1,254人と市要求水準は達成したが、指定管理者で設定した目標数を下回る結果となった。次年度以降は、広報活動やサービス内容の見直しとあわせて、友の会の位置づけや制度設計についても検討していく必要があると認識している。

3.市民ホールの基幹事業（文化振興事業）に関する業務

1) 人材育成・ボランティア組織コーディネート事業

新たな人材育成事業としてスタートした「とよなか ARTS ワゴン」は、前年度末に実施したオーディションにより選ばれた3名のレジデント・アーティストを迎えた。5月から7月にかけては、市民向けに開催したアートマネジメント講座研修に参加。その後、9月に4日間連続で行ったアウトリーチ合宿で自身のプログラム制作研修を行い、10月、11月にランスルー（通し稽古）を行った。12月からは各アーティストが1校ずつ市内小学校においてオリジナルのアウトリーチプログラムを披露した。

また、併催の取り組みとして、アートマネジメント講座に参加した市民の希望者による市民アートコーディネーター育成プログラムを開始した。レジデント・アーティストとともに年度末に実施する「こどもクラシックの日」内イベントの制作を担う取り組みとして、4名のコーディネーターがプログラムに参加した。しかしながら、新型コロナウイルスの影響でイベント自体が開催中止となったため、今後、プログラム再構成をすることとしたい。

地域文化や文化芸術センターの施設運営を支える市民の育成を目標に、平成28年度より始動した市民参加によるボランティア組織（サポートクルー）のコーディネート事業は、3年目を迎え、第2期募集に参加した4名が本格的に活動を開始した。

2) 鑑賞事業の企画・実施

本年度の鑑賞事業は、これまでの公演企画とは一線を画すラインナップで、多様性あるプログラム構成を意図しさまざまな事業を展開した。6月開催の「ノムラとジャレオとサクマの『問題行動ショー』ヨソモノになるための練習曲」では、香港の福祉施設 JCRC を拠点にインクルーシブアートを推進する idArt と作曲家、ジャワ舞踊ダンサーの3人と、国内外で多様な創作活動を行う「たんぼぼの家アートセンターHANA」が参加し、独創性と創造性の高い複合的公演を開催した。年齢や性別、国籍や障害の有無にとらわれず、多様性ある出演者による既存の枠には収まらない表現を発信するダイバーシティで意欲的な公演となった。本公演での取り組みは、多様性あるアーティストの参加を促進する今後の事業展開の大きな礎となった。

日本センチュリー交響楽団の楽団員によるリサイタルシリーズおよび室内楽シリーズでは、新たな試みに取り組んだ。リサイタルシリーズでは、従来より独創的なプログラムを意図していたが、12月「小川和代ヴァイオリンリサイタル」、2月「北口大輔チェロリサイタル」とともに新作の初演を行うなど、今を生きる作曲家たちの作品上演の機会を積極的に提供した。また、室内楽シリーズの「トップ奏者による弦楽四重奏」は、固定ファンが定着していることもあり、多くの来場者を迎えた。公演内容も豊中でしか体験できないプログラムとなり好評を得た。

さらに、本年は豊中出身で、世界で活躍するアーティストとの協働のプログラムを積極的に開催した。毎月上映の「とよキネマ」では、11月に豊中出身の映画監督、藤本明緒作品「僕の帰る場所」を監督自身による舞台挨拶を交えて上映し、地域ゆかりの人材を広く紹介することができた。そのほか世界的なピアニスト黒田亜樹が出演する現代音楽公演「越境する周縁者たち」なども開催した。今後も積極的に豊中にゆかりのあるアーティストとの協働を図っていきたい。

大学連携における新規の取り組みとして、これまでは大阪音楽大学と大阪大学のみであったが、本年度より京都造形芸術大学（現・京都芸術大学）との連携事業を開始した。アートプロデュース学科との協働展示事業「EXSCO-エクスコ-」は、展示室の新たな利用方法の提示と従来の展示にとらわれない新たな形の提案をベースに、複数のイベントが展示作品とともに展開する1日限りのイベントを実施。アートプロデュース学科に在籍する学生も多く関わり、今後のさらなる発展性や広がりが期待できる事業企画となった。

2月末からは新型コロナウイルスの影響ですべての公演が延期または中止となり、この状況はしばらく続くことが想定される。また、運営が再開したとしてもこれまでの劇場とは確実に意識や評価が変わっていることは明白であり、市民ホールとしても、「with コロナ」時代における新しい鑑賞モデルの構築や事業展開を検討していかななくてはならないと考えている。

鑑賞事業の概要は次表の通り。

【鑑賞事業実施一覧】

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料 上段：一般 下段：会員	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
1	伝統芸能	大ホール	市川海老蔵古典への誘い	4/13	共催	11,000円 9,000円	2,648	2,591	97.8%
2	クラシック	中ホール	ザクセン声楽アンサンブル	4/29	主催	一般 3,000円 学生 1,000円 一般 2,500円	490	357	72.9%
3	ポップス	大ホール	豊中文芸コンサート沖縄からの風	5/12	共催	6,000円	1,270	1,270	100.0%
4	クラシック	大ホール	ウラディーミル&ヴォフカ・アシュケナージ ピアノデュオ	5/19	主催	公演中止	-	-	-
5	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズVol.10	6/8	共催	4,500円 3,500円 4,500円 3,500円	1,344	688	51.2%
6	舞踊	中ホール	ノムラとジャレオとサクマの「問題行動ショー」	6/29	主催	3,000円 2,500円	490	187	38.2%
7	クラシック	小ホール	センチュリーリサイタルシリーズ Vol.8 村田和幸コントラバスリサイタル	7/2	主催	2,500円 2,000円	202	173	85.6%
8	クラシック	小ホール	センチュリー室内楽シリーズ Vol.5,6 トップ奏者による弦楽四重奏	7/10 7/11	主催	3,500円 セット6,500円 3,200円 セット6,000円	404	325	80.4%
9	舞踊	大ホール	東京バレエ〈子どものためのバレエ 「ドン・キホーテの夢」〉	8/12	主催	5,000円 4,000円 4,500円 3,500円	1,270	1,241	97.7%
10	クラシック	大ホール	ドラゴンクエストスペシャルコンサート	8/17	共催	5,000円 4,000円 4,500円 3,500円	1,344	1,150	85.6%
11	伝統芸能	中ホール	桂米朝一門会	8/23	主催	3,000円 2,700円	490	359	73.3%
12	クラシック	ローズ	セイジオザワ スクリーンコンサート2019	8/23	共催	無料	300	176	58.7%
13	ミュージカル	大ホール	ベネッセ英語コンサート夏公演 FUN AT THE SUMMER FESTIVAL!	8/25	共催	3,120円 3,000円	3,600	2,839	78.9%
14	ジャズ	中ホール	FM COCOLO JAZZ Where House	9/20	共催	無料	490	316	64.5%
15	クラシック	小ホール	にほんのうた Vol.5	9/18	主催	2,500円 2,000円	404	307	76.0%
16	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.11	9/21	共催	4,500円 3,500円 4,500円 3,500円	1,344	674	50.1%
17	ポップス	大ホール	林部智史 CONCERT TOUR 2019 秋 希望	10/4	共催	6,500円	1,270	1,121	88.3%
18	伝統芸能	小ホール	姜健華 二胡リサイタル	11/1	主催	3,500円 3,000円	202	172	85.1%
19	ポップス	大ホール	財津和夫コンサート2019 with 姫野達也〜All Izz Well 〜	11/15	共催	7,000円	1,270	1,274	100.3%
20	クラシック	小ホール	センチュリーリサイタルシリーズ Vol.9 小川和代ヴァイオリンリサイタル	12/11	主催	2,500円 2,000円	202	182	90.1%
21	クラシック	大ホール	第2回 豊中市民第九演奏会	12/14	主催	5,500円 4,500円 5,000円 4,000円	1,344	705	52.5%
22	クラシック	小ホール	高橋宗久コンサートシリーズ ist ※延期公演	1/7	主催	4,500円	202	165	81.7%
23	ミュージカル	大ホール	劇団四季 カモメに飛ぶことを教えた猫	1/19	主催	5,500円 3,500円 5,000円 3,000円	1,270	1,246	98.1%

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料 上段：一般 下段：会員	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
24	クラシック	多目的室	越境する周縁者たち	1/29	共催	3,000円 2,000円	100	91	91.0%
25	クラシック	小ホール	センチュリーリサイタルシリーズ Vol.10 北口大輔チェロリサイタル3	2/4	主催	2,500円 2,000円	202	169	83.7%
26	ポップス	大ホール	南こうせつwith日本センチュリー交響楽団	2/15	主催	7,500円 7,000円	1,270	1,016	80.0%
27	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.12	2/22	共催	5,000円 4,000円 4,500円 3,500円	1,344	518	38.5%
28	クラシック	小ホール 他	TRANCE MUSIC FESTIVAL 2020 -the body-	2/29	主催	公演中止	-	-	-
29	演劇	大ホール	MBSアナウンサー コトノハものがたりの世界2020	3/1	共催	公演中止	-	-	-
30	クラシック	大ホール	安藤美姫・氷上の名曲コンサート～フィギュアスケート を彩るクラシックの世界～	3/4	共催	公演中止	-	-	-
31	クラシック	小ホール	にほんのうた Vol.6	3/6	主催	公演中止	-	-	-
32	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.13	3/28	共催	無観客開催	-	-	-
33	映画	中ホール	とよキネマ 「空飛ぶタイヤ」	4/19	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	1,200	368	30.7%
34	映画	中ホール	とよキネマ 「人生フルーツ」	5/17	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	1,200	727	60.6%
35	映画	中ホール	とよキネマ 「雨に唄えば」	6/21	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	1,200	405	33.8%
36	映画	中ホール	とよキネマ 「シェフ ミツ星フードトラック始めました」	7/5	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	1,200	281	23.4%
37	映画	ローズ	とよキネマ 「若女将は小学生」	8/2	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	1,200	282	23.5%
38	映画	中ホール	とよキネマ 「たそがれ清兵衛」	9/13	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	1,200	372	31.0%
39	映画	中ホール	とよキネマ 「万引き家族」	10/4	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	1,200	382	31.8%
40	映画	中ホール	とよキネマ 「僕の帰る場所」	11/22	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	1,200	252	21.0%
41	映画	中ホール	とよキネマ 「34丁目の奇蹟」	12/20	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	1,200	206	17.2%
42	映画	中ホール	とよキネマ 「日は好日」	1/17	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	1,200	796	66.3%
43	映画	中ホール	とよキネマ 「おとうと」	2/8	主催	1,000円 ペア1,800円 900円 ペア1,600円	1,200	370	30.8%
44	映画	中ホール	とよキネマ 「グリーンブック」	3/13	主催	公演中止	-	-	-

3) 普及育成事業、その他の事業

本年度に実施した普及育成事業は「クラシック音楽の普及」「こども向け事業」「市民参加型」の大きく3つに分類される。

「クラシック音楽の普及」の取り組みとして、センチュリー豊中名曲シリーズの開演前に多目的室で行う「プレパフォーマンス&トーク」では新作4作品の創作、初演の機会を提供した。観客は本企画の演奏を経て、日本センチュリー交響楽団の本公演を聴くことになり、古典作品と現存作家による同時代に生まれた作品を同時に体験することで、新たな視点で公演を楽しみ、作品理解を得られる機会となる。3シーズン目の「ここから始まるクラシック！」では、3人の同時代に活躍した作曲家を比較しながら知る新たな試みを行った。また、日本センチュリーの楽団員と講師で作曲家の加藤昌則による番外編コンサートでは、クラシックの隠れた名作曲家の紹介とともに楽器の特性も知ることができるオリジナル公演として、好評を博した。

「こども向け事業」の取り組みでは、地域創造「公共ホール音楽活性化支援事業」を活用するアウトリーチ活動とコンサートを一体化した「まちのおとシリーズ」の実施、また、毎年恒例「こどもクラシックの日」の開催を予定していたが、前者は台風接近による悪天候のためアウトリーチ活動のみを実施しコンサートは中止となった。後者は、サテライトイベントとして実施したワークショップ「ホエルトーンオペラ」のみ行い、3月に予定していた公演は新型コロナウイルスの影響で中止となった。イギリスのボーンマス交響楽団員で作曲家のヒュー・ナンキビル氏と作曲家の野村誠氏がファシリテーターを務めるオリジナルオペラ創作ワークショップ「ホエルトーンオペラ」は、これまでにないスタイルの創造型音楽ワークショップとして、参加者から好評を得た。

「市民参加型事業」の取り組みでは、毎年恒例の「針山愛美ダンスプロジェクト」を実施。3月の成果発表公演は新型コロナウイルスの影響で中止となったが、12月からスタートしたワークショップには90名近くの市民が参加した。

以上の通り、普及育成事業の取り組みの多くが開催中止となってしまったが、これまでも年間を通じてオリジナリティある事業を継続的に展開しており、今後も引き続き音楽や創作をテーマにした事業に取り組んでいきたい。

普及育成事業の概要は次表の通り。

【普及育成事業実施一覧】

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料 上段：一般 下段：会員	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
45	普及育成	多目的室	センチュリー豊中名曲シリーズ プレバフォーマンス&トーク ※3/28は公演中止	6/8 9/21 2/22	主催	無料	360	340	94.4%
46	普及育成	展示室	豊中まつり 「こども楽園」	8/4	共催	無料	1,200	1,200	100.0%
47	普及育成	ローズ	TOYONAKAおんがくファクトリー	8/8	主催	1,000円	140	119	85.0%
48	普及育成	中ホール	和太鼓×マリンバGONNAの「夏だ！和太鼓！大作戦！」	8/10	主催	1,000円 500円 2,000円 500円 1,000円500円 1,900円500円	830	716	86.3%
49	普及育成	中ホール	舞台ワークショップ	8/22	主催	無料	20	14	70.0%
50	普及育成	中ホール	作曲家・加藤昌則のここから始まるクラシック！ 2019 くらべる大作曲家編～番外編コンサート「キラキラくらしっく！」	9/27 10/18 11/15 12/15	主催	講座1,000円 コンサ-1,500円	1,470	504	34.3%
51	普及育成	中ホール	地域創造 公共ホール音楽活性化支援事業 坂口昌優と喜納雅のヴァイオリンとチューバが奏でる 「はじける、うまれる、むすぶ、まちのおと」	10/12	共催	公演中止	-	-	-
52	普及育成	多目的室	大阪大学総合学術博物館第22回企画展 四國五郎展 ～シベリアからヒロシマへ～	6/29	共催	無料	160	150	93.8%
53	普及育成	小ホール	大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻連携事業 「タップ、たっぶり、タップダンス」 「O泊バリ島の旅(※1)」	1/24 1/31	共催	前売 2,000円 当日 2,500円 ※1のみ	404	228	56.4%
54	普及育成	諸室	とよなかARTSワゴン	4/29 5/18 5/25 6/8 6/9	主催	講座(1回あたり) 500円	100	70	70.0%
55	普及育成	中ホール	舞台ワークショップ	5/5	主催	無料	20	17	85.0%
56	普及育成	ローズ	世界のしょうない音楽祭	3/1	共催	公演中止	-	-	-
57	普及育成	中ホール 他	針山愛美ダンスプロジェクト Vol.4	3/8	主催	公演中止	-	-	-
58	普及育成	全館	こどもクラシックの日2020 CATCH THE SOUND!	11/30 12/1 3/28 3/29	主催	公演中止	-	-	-

【ロビーコンサート】

事業番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料 上段：一般 下段：会員	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
59	ロビーコンサート	ホワイエ	ロビーコンサート Vol.21 日本センチュリー交響楽団楽団員による室内楽	4/16	主催	無料	40	60	150.0%
60	ロビーコンサート	ホワイエ	ロビーコンサート Vol.22 大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻プロデュース公演	6/26	主催	無料	40	62	155.0%
61	ロビーコンサート	多目的室	ロビーコンサート Vol.23 日本センチュリー交響楽団楽団員による室内楽～オーボエ、ファゴット、ピアノの三重奏～	7/30	主催	無料	100	99	99.0%
62	ロビーコンサート	ホワイエ	ロビーコンサート Vol.24 センチュリーユースオーケストラ弦楽四重奏	8/11	主催	無料	40	46	115.0%
63	ロビーコンサート	ホワイエ	ロビーコンサート Vol.25 日本センチュリー交響楽団楽団員による室内楽	9/10	主催	無料	40	45	112.5%
64	ロビーコンサート	ホワイエ	ロビーコンサート Vol.26 日本センチュリー交響楽団楽団員による室内楽	10/20	主催	無料	40	35	87.5%
65	ロビーコンサート	多目的室	ロビーコンサート Vol.27 阪急宝塚線ミュージック駅伝MOT! 阪急電車の行く道（宝塚線）	12/4	主催	無料	100	82	82.0%
66	ロビーコンサート	多目的室	ロビーコンサート Vol.28 大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻プロデュース公演	12/11	主催	無料	100	62	62.0%
67	ロビーコンサート	ホワイエ	ロビーコンサート Vol.29 センチュリーユースオーケストラによる木簡五重奏	2/26	主催	公演中止	-	-	-

【展示事業一覧】

事業番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料 上段：一般 下段：会員	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
68	展示	展示室	豊中市×大阪府所蔵作品展「湯田寛&木村嘉子 ふたり展」	8/10 ～ 9/10	共催	無料	3,000	1,808	60.3%
69	展示	展示室	京都造形芸術大学アートプロデュース学科連携事業 エクスコ 拡張するスコア	1/18	共催	無料	150	139	92.7%
70	展示	展示室	カヨサトープレゼンツ はなむけ farewell gift	3/11	主催	開催中止	-	-	-

4.施設の運営に関する業務

①貸館事業（施設の提供）施設利用状況表

（開館日数、利用日数、利用率、利用件数、区分・時間稼働率、利用人数）

1) 4ホールの利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能区分	利用区分	区分稼働率	利用人数
1 大ホール	260	214	180	82.3%	778	561	72.1%	169,524
2 中ホール (アクア文化ホール)	257	229	230	89.1%	766	588	76.8%	69,903
3 小ホール	284	284	322	100.0%	789	713	90.4%	52,785
4 ローズ文化ホール	225	177	174	78.7%	673	401	59.6%	38,258
合計	1,026	904	906	平均稼働率 87.5%	3,006	2,263	平均区分稼働率 74.7%	330,470

2) 文芸センター諸室の利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能区分・時間	利用区分・時間	区分稼働率	利用人数
1 展示室	271	195	95	72.0%	811	511	63.0%	29,792
2 多目的室	284	239	203	84.2%	850	554	65.2%	29,409
3 練習室1	297	297	716	100.0%	3,861	2,940	76.1%	5,608
4 練習室2	300	289	556	96.3%	3,900	2,742	70.3%	9,420
5 練習室3	300	300	714	100.0%	3,900	2,842	72.9%	4,064
6 ミーティングルーム1	292	258	351	88.4%	3,796	2,050	54.0%	4,587
7 ミーティングルーム2	288	259	381	89.9%	3,744	1,900	50.7%	3,246
8 ミーティングルーム3	284	245	304	86.3%	3,692	1,714	46.4%	2,741
9 スタジオ	308	308	1,235	100.0%	4,004	3,000	74.9%	2,745
10 和室	296	239	304	80.7%	3,848	1,531	39.8%	1,915
合計	2,920	2,629	4,859	平均稼働率 89.8%	32,406	19,784	平均利用率 61.3%	93,527

3) アクア文化ホール諸室の利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能時間	利用時間	区分稼働率	利用人数
1 音楽室	299	298	761	99.7%	3,887	2,713	69.8%	10,704
2 練習室	303	302	895	99.7%	3,939	2,870	72.9%	9,752
合計	602	600	1,656	平均稼働率 99.7%	7,826	5,583	平均利用率 71.3%	20,456

4) ローズ文化ホールの利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能時間	利用時間	区分稼働率	利用人数
1 会議室	292	112	112	38.4%	3,787	821	21.7%	269

※1) 2月、3月に発生した新型コロナウイルスの影響によるキャンセルは、各施設とも利用可能区分・時間から除外して計算。

※2) ローズ文化ホール会議室の利用人数について…ホール控室として使用された際の人数は計上せず。

イ) 施設来館者数集計表

施設名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
豊中市立文化芸術センター	貸館利用者数													
	大ホール	12,745	11,294	14,208	15,145	31,960	11,400	12,777	19,839	12,766	15,045	12,263	82	169,524
	中ホール	4,928	5,784	8,772	6,808	7,474	6,412	5,434	7,009	5,368	6,244	5,538	132	69,903
	小ホール	3,259	4,057	3,806	5,714	7,260	3,578	4,359	5,161	4,223	6,800	3,825	743	52,785
	展示室	2,211	1,787	1,208	1,298	3,247	882	5,438	6,254	3,081	3,443	936	7	29,792
	多目的室	1,382	1,813	2,108	3,537	1,494	1,527	2,422	5,934	2,416	4,509	1,862	405	29,409
	練習室1	499	409	447	519	552	470	713	452	562	413	431	141	5,608
	練習室2	634	699	619	772	2,177	548	906	866	795	487	753	164	9,420
	練習室3	325	310	344	323	388	305	449	444	343	366	358	109	4,064
	MTGルーム1	473	344	504	295	450	402	354	420	454	442	337	112	4,587
	MTGルーム2	241	176	241	275	298	263	314	461	306	260	262	149	3,246
	MTGルーム3	180	137	256	229	292	288	260	235	262	229	314	59	2,741
	スタジオ	215	183	251	331	250	292	263	230	191	186	223	130	2,745
	和室	171	90	150	100	160	109	186	251	272	126	171	129	1,915
	キッズルーム	363	473	488	688	673	600	467	523	505	421	339	30	5,570
	アクア音楽室	808	783	673	1,517	945	720	1,282	977	890	764	1,116	229	10,704
	アクア練習室	682	859	670	1,193	849	795	1,087	856	836	818	848	259	9,752
使用承認申込者数	365	407	409	420	357	438	427	367	371	350	405	59	4,375	
チケット購入者数	379	635	572	518	435	305	1,091	344	401	331	217	22	5,250	
友の会入会者数	130	67	37	33	18	36	49	6	29	15	5	0	425	
カフェ利用者数	1,529	1,537	1,225	1,726	1,560	1,530	1,473	1,790	1,512	1,296	1,123	154	16,455	
小計	31,519	31,844	36,988	41,441	60,839	30,900	39,751	52,419	35,583	42,545	31,326	3,115	438,270	
ローズ文化ホール	貸館													
	ホール	3,322	2,080	3,950	4,345	4,927	3,822	3,088	4,363	5,361	0	2,630	370	38,258
	会議室	15	21	8	29	11	7	18	53	6	47	45	9	269
	使用承認申込者数	20	24	23	22	21	25	18	25	29	19	27	48	301
	チケット購入者数	1	3	6	10	2	5	7	1	5	9	1	0	50
小計	3,358	2,128	3,987	4,406	4,961	3,859	3,131	4,442	5,401	75	2,703	427	38,878	
合計	34,877	33,972	40,975	45,847	65,800	34,759	42,882	56,861	40,984	42,620	34,029	3,542	477,148	

ウ) 各施設の利用状況について

1) 文化芸術センター

開館 4 年目を迎えた文化芸術センターでは、大ホール利用率は 82.3%、区分稼働率は 72.1%となり、利用率では目標水準 75%を大きく上回り、区分稼働率でも高い水準で推移した。諸室の利用では練習室 1、2、3 およびスタジオでいずれも利用率 90%を超える数値となった。理由としては、前年度に引き続き各施設の単独の利用とあわせて大ホールまたは小ホール使用時に控室として同時利用する団体が多かったため、利用件数の増加、利用率の向上につながったと考えられる。

展示室は利用率 72.0%と指定管理者設定の目標値を下回る結果となった。徐々に展示利用を実施される団体も着実に増えてきており、今後も展示利用を中心とした利用促進を図っていきたい。多目的室は 84.2%と目標値を達成することができた。前年度に引き続き地元企業の研修会や説明会、試験会場など団体のニーズに合った利用が見られた。ミーティングルーム 1、2、3 は 3 施設の平均利用率 88.2%と前年度 (82.8%) より大きく向上した。今後も市内の文化団体はじめ市外団体等へも広く広報活動を展開することで、さらなる利用促進につなげていきたい。和室の利用率も 80.7%と前年度 (73.0%) を上回る利用があり、施設の周知の拡大により利用の定着につながった。

貸館業務の質的向上の取り組みとして、利用受付や窓口での接客サービス向上を図るためのマナー研修の実施のほか、担当部署の定例ミーティングの実施、サービスマニュアルを整備することで公平な施設利用とサービスの均一化を図った。また、利用者の利便性向上や事務効率の向上を意図し、使用申込書や貸館手順を記した利用の手引きの制作、施設ホームページでの案内のほか、予約システムの一部改修を行った。

2) アクア文化ホール (中ホール)

ホール年間利用率は 89.1%と、前年度に引き続き高い利用率を維持した。また、音楽室・練習室はいずれも 100%に近い利用率を維持した。引き続き、施設の老朽化や修繕状況に配慮しながら、市民の皆様に気持ちよくご利用いただけるように環境を整えていきたい。

3) ローズ文化ホール

ホールの利用率は 78.7%と前年度数値 (前年度 79.8%) より若干低下した。会議室についても同様に利用率 38.4%と若干減少した。原因として考えられるのは 3 月の新型コロナウイルスの影響による催しの中止が相次いだためと考えられる。なお、キャンセルがなければホールの利用率は 80.6%と前年微増の傾向で推移していた。平成元年の供用開始以降、設備の老朽化による不具合が著しく発生しており、優先順位をつけた修繕が必要である。

②情報提供事業

ア) 地域文化芸術情報の受発信

地域文化芸術情報の受発信の取り組みとして、館内チラシラックを利用し、貸館催事や主催事業だけでなく、他館の文化情報や催事情報を積極的に配架することで、広域における文化芸術情報発信機能の拡大に努めた。

イ) ホール情報紙やホームページを通じた施設情報の提供 等

自主事業公演情報紙「aperitif」の発行や Facebook や Twitter など SNS を利用した情報発信を積極的に行った。公式ホームページ上でもタイムリーに貸館催事情報を掲載することで地域文化芸術情報の発信に努めた。また、文化芸術センターおよびローズ文化ホール館内ではチラシラックの充実を図ることで、地域の文化情報拠点としての機能向上を図った。その他の情報発信として、積極的なマスメディアへの情報発信による新聞や雑誌などへの情報掲載、市内公共施設へのチラシ、ニュースリリースの発行、一般紙、地域紙への広告出稿など、多様なメディアを活用した施設情報や文化情報の発信を行った。

③相談事業

ア) 施設利用に関する相談・アドバイス業務の実施

イ) 専門人材によるディレクターズ・オフィス機能の活用

相談・見学会参加者数

ホール利用者・希望者を対象とした見学会・相談会を実施した。文化芸術センターでは 37 組 69 名、ローズ文化ホールでは 26 組 74 名の参加があった。文化芸術センターでは見学・相談会の日時を設定し、希望者を募集。当日は舞台や楽屋回りの見学後に大阪共立の常駐技術員が各機構についての説明・相談会を実施した。また、急な見学希望があった場合も、施設の稼働に余裕がある限り対応を行った。ローズ文化ホールでは見学希望があれば随時受け付け、職員による見学会や常駐技術員による相談会を実施した。

見学相談会	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	組	人数										
文芸センター	5	6	3	5	6	11	4	9	4	13	2	4
ローズ文化ホール	2	5	2	8	2	5	3	11	1	4	3	7

見学相談会	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数
文芸センター	3	4	2	2	4	7	1	2	3	6	0	0	37	69
ローズ文化ホール	3	10	2	7	3	7	2	4	2	5	1	1	26	74

ウ) アーティスト・アーカイブス（登録アーティスト制度）の活用 等

本年度より、レジデント・アーティスト育成事業「とよなか ARTS ワゴン」を本格的に始動した。オーディションによって選ばれた 3 組のレジデント・アーティストが 2 年をかけて豊中とアートをつなぐ役割を果たしうる人材として育成した後、豊中市と文化芸術センター独自のアーティスト・アーカイブス（とよなかアーティストバンク(仮)）へ登録するスキームを構築している。なお、アーティスト・アーカイブスの運用は令和 2 年度より開始

できるよう現在、準備を行っている。

④「友の会」運営業務

平成 28 年 10 月より文化芸術センター友の会「club CaT(クラブキャット)」を発足させ、入会受付を開始した。本年度の会員入会数は 1,254 名(令和 2 年 3 月末)となった。特にコロナ禍以降の急激な伸び悩みが減少の大きな原因となった。次年度は指定管理期間最終年度として目標値 1,500 名を達成するため、良質かつプレミアムな公演プログラムの提供や優待制度、情報提供を充実することで、会員増と集客拡大を図っていききたい。

年度会員数	1,254 名(令和 2 年 3 月末時点)
会員特典等	<ul style="list-style-type: none"> ●主催公演チケットにおける会員先行発売期間の設定 ●主催公演チケットにおける会員価格の設定 ●ホール自主公演情報誌「aperitif(アペリティブ)」の送付 ●近隣店舗の協力による優待サービスの提供

⑤広報・宣伝事業

ア) 施設 WEB ページの運営

令和元年 9 月に文化芸術センター WEB サイトのセキュリティアップを実施した。

主な評価項目	内容および数値
対象期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
ユーザー数	236,266 ユーザー ※当該 WEB サイトに訪れた人の数
セッション数	408,174 回 ※ユーザーが WEB サイトに訪問した数
ページビュー数	【文芸センター】1,093,828PV ※ユーザーがサイト内のページを閲覧した数

イ) 情報誌、催事情報カレンダーの作成・発行

昨年度より催事案内を掲載することで、より多くの情報を発信することとなった公演情報誌「aperitif(アペリティブ)」を 2020 年 2 月-3 月号まで発行。令和 2 年 3 月末に発行した 2020 年 4 月-5 月号からは、より手元に取りやすく、かつ多くの情報を掲載するためサイズを B5 サイズの 16 ページとし、デザインも大幅にリニューアルした。

【情報誌、催事情報カレンダーの発行部数】

発行物	発行日	発行部数
aperitif vol.17	2019. 5/25	6,000 部
前期イベント案内 5-9 月	2019. 5/1	201,000 部
aperitif vol.18	2019. 7/25	7,000 部
aperitif vol.19	2019. 9/25	7,000 部
後期イベント案内 10-3 月	2019. 10/1	201,000 部
aperitif vol.20	2019. 11/25	7,000 部
aperitif vol.21	2020. 1/25	6,500 部
2020 年度公演ラインナップ	2020. 2/1	5,000 部
aperitif vol.22	2020. 3/25	7,000 部

ウ) 施設パンフレット、利用案内リーフレットの作成

施設パンフレットは、引き続き継続して使用している。利用案内リーフレットは、使いやすさを重視して更新を行っている。また、展示室・多目的室の利用促進やより使い勝手を明確にするために、特化した利用案内を作成した。また、消費税アップに伴い料金体系の変更も行った。

エ) チラシ・ポスター等の作成

自主事業公演ごとにチラシやポスターを作成。自主事業公演ラインナップリーフレット、club CaT（友の会）会員入会促進チラシも作成。また、夏休みのこども向けイベントを集め、公演参加スタンプラリー形式にした新たな案内チラシを作成した。

オ) フェイスブック・ツイッターなど SNS による広報・宣伝活動

オフィシャル WEB ページの更新、Facebook（フェイスブック）や Twitter（ツイッター）など SNS を利用し、館の広報・宣伝活動をより積極的におこなった。特に Facebook での広報を強化。有料 Facebook 広告を積極的に利用し、豊中周辺のユーザーへのよりピンポイントで発信する広報展開を行った。また、10 月末より試験的に instagram の利用も開始。今後は、Twitter、Facebook、instagram の 3 媒体をそれぞれの特徴を生かした利用の仕方を検討していく。

フォロワー数は対前年比で Twitter は 65%増、Facebook は 25%増につながり、新たな広報ツールとしてさらなる拡大を目指す。

SNS を活用した活動内容は次表の通り。

※数値は一部を除いて平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月末までのもの

SNS ツール	広報・宣伝活動の概要
Twitter	ツイート数：100 ツイート

	掲載内容：主催公演情報、チケット販売情報、イベントリポート 等 フォロワー数：832
Facebook	投稿数：261 件 掲載内容：主催公演情報、チケット販売情報、イベントリポート 等 いいね！数：1,023 フォロワー数：1,174 人 チェックイン数：8,573 人（総数） レビュー数：50

【パブリシティによるメディア掲載、その他広告出稿】

本年度はメディアへの積極的なアプローチによる掲載推進を図り、昨年まで以上に多くの公演の記事を掲載することができた。また、昨今トレンドとなってきたネットマガジンへの積極的なプレスリリースの発信により、特集ページ掲載などが成果につながっている。また、「こどもクラシックの日」公演などの認知が上がってきたことによる、子ども向け全国雑誌への掲載なども行えるようになってきた。次年度以降も、より積極的なプレスリリース発信による多くのメディアへの掲載し、豊中市立文化芸術センターをアピールできる広報展開の実施を推進していく。

媒体名(パブ掲載)	発行日(号)	掲載内容
まみたん 5月号	2019.5月号	2019年4月実施ロビーコンサート案内
JAF PLUS	2019.5月号	村田和幸コントラバスリサイタル公演案内
大阪日日新聞	2019.4/16(火)	TRANCE MUSIC FESTIVAL 2019 批評
朝日新聞	2019.4/26(金)	アシュケナーズ公演中止案内
まるごクーポン	2019.5月号	アシュケナーズ公演
JAF PLUS	2019年6月号	センチュリートップ奏者による弦楽四重奏公演案内
日本経済新聞	2019.6/16	センチュリートップ奏者による弦楽四重奏記事
中日新聞	2019.6/22	問題行動ショー 公演案内
阪急沿線イベント案内 (WEB)	2019.7月	夏だ！和太鼓！大作戦！公演案内
読売新聞	2019.7/26(金)	阪急沿線ルーコンサート MOT！記事
大阪日日新聞	2019.7/30(火)	阪急沿線ルーコンサート MOT！記事
THE 太鼓 TIMES	第80号	夏だ！和太鼓！大作戦！公演案内
読売新聞	2019.8/21(土)	豊中市所蔵作品展
読売新聞	2019.8/24(土)	文芸センター紹介記事(エキタビ)
CITY LIFE 北摂 WEST	9月号	ここから始まるクラシック 公演案内
朝日新聞	2019.9/6(金)	林部智史 記事

JAF PLUS	2019.11月号	小川和代ヴァイオリンリサイタル
産経 LIVING	2019.11/22(金)	豊中市民第九演奏会 公演案内
KEP ONLINE	2019.11/2(土)	南こうせつ with 日本センチュリー交響楽団 インタビュー記事
JAF PLUS	2019.12月号	劇団四季公演案内
毎日新聞	2019.11/27(水)	豊中市民第九演奏会 記事
大阪日日新聞	2019.12/5(木)	豊中市民第九演奏会 記事
JAF PLUS	2020.1月号	南こうせつ 公演案内
JAF PLUS	2020.2・3月号	にほんのうた 6 公演案内
産経 LIVING WEB	2020.1/6(月)	こどもクラシックの日 2020 公演案内
いこーよ	2020.1月	こどもクラシックの日 2020 公演案内
月刊誌クーヨン	2020.3月号	こどもクラシックの日 2020 公演案内
まるごとクーポン	2020.2月号	TRANCE MUSIC FESTIVAL2020
IAMAS WEB サイト	2020.1月	TRANCE MUSIC FESTIVAL2020
HugMug WEB	2020.1月	こどもクラシックの日 2020 公演案内
日経新聞(関西版)	2020.2/21(金)	TRANCE MUSIC FESTIVAL
Paper C WEB	2020.2月	TRANCE MUSIC FESTIVAL
ゆこゆこ	2020.2月	こどもクラシックの日 2020 公演案内

5.施設及び設備の維持管理に関する業務

①舞台の管理に関する業務

文化芸術センター・ローズ文化ホール共に、経験豊富な舞台技術担当者による日常保守点検及び定められた回数の定期保守点検を保守点検業者及び設備・機器メーカーと連携を図るとともに、メンテナンス担当者と綿密な相談のうで滞りなく実施した。大・小ホールに関しては開館以来非常に高い稼働率を維持しているが、休館日に定期保守点検を実施するなどして規定の回数を実施している。高稼働に伴う修繕予定の変更（部品交換時期の前倒し等）について、施工業者と先を見据えた改善策を協議しており、安全に舞台をご利用いただける環境の維持に努めている。

アクア文化ホール（中ホール）及びローズ文化ホールについては、老朽化による不具合が多く発生しているが軽微なものは担当者が修繕を行うことで施設、設備の長寿命化を図っているが、対応が難しい程度のもや計画的な修繕が必要と考えられる案件については、不具合・修理案件として適宜報告を行った。

また、文化芸術センターの高い稼働率の中で問題になっている職員の過重労働を解消し、舞台設備管理の安全性の向上及びサービスの質向上を図るため、前年度より引き続き舞台技術員の常駐者を1名増員し計8名の常駐者で文化芸術センターの管理を行う体制を整えている。

②施設および設備の維持管理に関する業務

豊中市市民ホール指定管理者業務仕様書に定められた施設および設備の維持管理に関する業務を行った。各業務の概要は以下の通り。

○設備維持管理

アクア文化ホール（中ホール）老朽化による不具合や、文化芸術センター2年目瑕疵のための工事等、多くの工事・修繕対応を行った。また、メーカー無償対応期間が終了する機器が増えてくることで、設備対応数が大幅に増加した年度であった。そのなかでも、発生した案件は都度運営部門スタッフに報告することで迅速な“報連相”を心がけている、また毎月実施される市とのモニタリングにおいて、アクア文化ホール（中ホール）・文化芸術センター両館の設備責任者が毎回出席し、市及び協力事業体と情報共有を図り、一体的な修繕管理の意識付けを行っている。

○清掃業務

アクア文化ホール（中ホール）・文化芸術センターともに昨年度に引き続き、日常清掃・定期清掃・特別清掃の全てを委託協力会社1社に指定することで品質の統一及び連携強化を図った。また社内のノウハウだけでなく、常に運営部門とも連携をとることで、ホールの利用状況に応じたスムーズな業務対応を実施した。

○保安警備業務

平成 28 年 9 月の文化芸術センターの竣工以降、館内及び駐車場・駐輪場の安心安全の業務を協力会社と連携して対応を行っている。ホール等の催事に伴う臨時警備に関しては、雑踏の精査と集約、適正な配置を行い無事故で終了している。日常業務においてもタイムスケジュール等の確認を徹底し、イレギュラーに於いても対応出来るようフロー確認と報告・連絡を徹底し、業務を遂行していく。その他についても、保安警備業務の倫理に基づく行動と法令の順守を基本におき、良識ある公正な行動により、信頼される管理業務を実施した。

③行政財産の使用について（コミュニケーションロビー ならびにビュッフェの活用）

昨年度に引き続き、飲食事業者への運営委託により文化芸術センター 1 階コミュニケーションロビー内飲食施設「健康カフェ・メヌエット」を営業し、利用者、来館者への飲食サービスの提供を行った。本年度も貸館利用団体が打上げや会食、ケータリング等で利用も一定数あったが、年間の利用者は 16,645 名と前年比 64%程度となった。コミュニケーションロビーは近隣住民の利用や催事前後の待ち合わせ場所等として利用されるケースも多くなり、市民の憩いとにぎわいの場所として定着しつつある。

コミュニケーションロビーの開放時間はこれまで通り 9:00~20:00 とした。なお、カフェ営業時間は、事業者の衛生管理面での対応強化と人員配置の効率化を意図し、11:00~17:00 とした（前年は 11:00~18:00）。

大ホールホワイエ 1 階ビュッフェは、club CaT 特典参加店の協力を得て、一部の主催公演でコーヒーと焼き菓子の販売を行った。

④託児サービスおよびキッズルーム

昨年度に引き続き、文化芸術センター 2 階のキッズルームの運用を継続、開館日の 9:00~20:00 に開室し、本年度は 5,570 名の利用があった。常に安定的な利用があり、地域の子育て世代を中心に市民の認知度が向上していると考えられる。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3 月度は一部で利用の制限を行ったことで、前年に比べて利用者が減少した。また、指定管理者による一部の主催公演では一時保育サービス（有料）を実施している。今後も施設機能の有効活用に努めたい。

6. 運営組織についての報告（職員の研修の取り組みなど）

前年度に引き続き、施設の安定した運営と利用者の満足度向上をめざし、各種研修プログラムの実施および職員の外部セミナー等へ積極的に参加した。また、本年度は当館にて公益社団法人全国公立文化施設協会の総会と研究大会が実施され、全国の都道府県から 400 名を超える参加者を迎え、各施設の責任者や講師との交流を図り、施設運営ノウハウの蓄積とサービスの高度化において有益な機会となった。

また、毎年恒例となった大学生を対象としたインターンシップを 8 月に 5 名、3 月に 4 名を受け入れた。市内外からの施設見学、ヒアリング依頼については年間で 15 回対応を行った。大阪府内では大阪市や高槻市、遠方では沖縄県や京都府豊岡市など受け入れ先は多岐にわたり、本年度も引き続き全国的に注目される施設となった。

職員参加による研修、会議参加については次表の通り。

【教育訓練、研修セミナー等の実施】

■文化芸術センターおよび文化芸術センター				
	内 容		実施日	開催場所（参加者数）
安 全	1	消防訓練	2019/5/21	中央公民館と合同実施
	2		2019/10/29	
研 修	3	舞台機構研修会	2019/4/9	文化芸術センター（豊中市職員対象）
	4	人権問題事業者研究会	2019/7/5	とよなか男女共同計画推進センター 「すてっぷ」（4名）
	5	個人情報取り扱い研修	2019/7/10	文化芸術センター（JCD 職員）
	6	一般廃棄物管理責任者研究会	2019/7/24	豊中市環境交流センター（1名）
	7	チームリーダー研修	2019/10/18	JCD 本社 大阪オフィス（1名）
	8	施設運営責任者研修	2019/11/26	JCD 本社 大阪オフィス（1名）
出 張 研 修 ・ 会 議	9	舞台技術安全講義	2019/5/11～12	世田谷パブリックシアター（1名）
	10	日本音楽芸術マネジメント学会	2019/12/16	昭和音楽大学（1名）
	11	劇場職員セミナー	2020/1/15～17	愛知県芸術劇場（2名）
	12	全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修・舞台技術研修会	2020/2/5～7	国立オリンピック記念 青少年総合センター（2名）
	—	2019 年度公益社団法人全国公立文化施設協会研究大会および総会	2019/6/6～6/7	豊中市立文化芸術センター（文芸センター、ローズ文化ホール職員が開催地の運営スタッフとして参加）
■ローズ文化ホール				
安 全	1	消防訓練	2019/9/30	庄内体育館と合同実施
	2	救急救命・AED 講習	2020/2/29	
研 修	3	付帯設備研修	2019/7/5	ローズ文化ホール
	4	一般廃棄物管理責任者研究会	2019/7/24	豊中市環境交流センター(2名)
	5	チームリーダー研修会	2019/10/18	JCD 大阪オフィス(1名)
	6	施設運営責任者研修会	2019/11/26	JCD 大阪オフィス(1名)
	7	地域別・音楽堂等職員アートマネジメント研修会	2020/2/2	奈良文化会館(1名)

7. 収支報告書

豊中市市民ホール 令和元年度収支報告書

【収入の部】

(単位:円 税込)

費目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)-(A)	備考
指定管理料	319,049,539	319,049,539	0	
利用料金(文芸)	120,322,880	137,524,778	17,201,898	施設利用料金、付帯設備利用料金
利用料金(アクア)				
利用料金(ローズ)				
利用料金補填収入(還付相当額)	0	5,054,495	5,054,495	2月、3月コロナウイルスの影響によるキャンセル
自主事業収入	63,583,000	48,710,922	△ 14,872,078	チケット収入、助成金収入 等
友の会会費収入	6,787,260	1,557,500	△ 5,229,760	年会費収入
その他収入	2,018,518	769,694	△ 1,248,824	チケット郵送手数料、コピー代 等
収入合計	511,761,197	512,666,928	905,731	

【支出の部】

費目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)-(A)	備考	
人件費	113,599,800	118,499,400	4,899,600	給与、手当、通勤費、社会保険料、福利厚生費等	
物件費(事業費)	97,620,601	85,129,860	△ 12,490,741	出演料及び委託料、宣伝印刷費、会場費 等	
物件費(施設維持管理経費)	修繕料(文芸・アクア・ローズ)	12,000,000	12,000,000	0	※精算対象(精算の部参照)
	光熱水費(文芸)	47,253,000	47,253,000	0	※精算対象(精算の部参照)
	光熱水費(アクア)	11,233,056	11,011,865	△ 221,191	
	光熱水費(ローズ)	6,674,231	7,060,970	386,739	
	設備・警備・清掃管理業務費	84,052,329	88,758,059	4,705,730	臨時警備費、廃棄物処理費 含む
	舞台操作・保守管理費	91,916,208	94,966,574	3,050,366	文芸・アクア・ローズ舞台消耗品 含む
	アクア維持管理費(按分)	13,692,620	12,212,282	△ 1,480,338	
	ローズ維持管理費(按分)	15,860,509	14,328,211	△ 1,532,298	
物件費(施設維持管理経費 計)	282,681,953	287,590,961	4,909,008		
物件費(事務経費)	旅費交通費	100,926	867,843	766,917	
	会議費	54,500	69,455	14,955	
	消耗品費	3,270,000	2,687,899	△ 582,101	一般管球、消耗品 等
	印刷製本費	1,308,000	2,332,526	1,024,526	各種用紙、催事案内、コピー代 等
	通信運搬費	981,000	2,137,914	1,156,914	電話、インターネット、郵送代 等
	広告宣伝費	5,886,000	4,560,782	△ 1,325,218	情報紙、ホームページ運営費 等
	使用料及び賃借料	4,583,046	7,038,140	2,455,094	コピー複合機、パソコン、チケットシステム 等
	備品費	302,778	59,400	△ 243,378	
	保険料	807,407	1,003,350	195,943	施設賠償責任保険、興業中止保険 等
	燃料費	242,222	40,064	△ 202,158	
	負担金	100,926	118,346	17,420	公文協会費
手数料	121,111	122,890	1,779	金融機関手数料	
公租公課	100,926	134,000	33,074	収入印紙	
物件費(事務経費 計)	17,858,843	21,172,609	3,313,766		
支出合計	511,761,197	512,392,830	631,633		
収支	0	274,098			

【精算の部】

項目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)-(A)	備考
【戻入】豊中市への精算金	0	-2,426,151		文芸センター光熱水費超過分
【戻入】豊中市への精算金	0	-952,370		修繕費不足分
収支	0	-3,378,521		

(参考) 利用料金収入月別一覧 (令和元年4月～令和2年3月)

単位：円

施設名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
文化芸術センター	10,320,289	9,325,969	9,338,251	10,742,915	14,264,831	11,092,200	
ローズ文化ホール	861,755	838,465	1,362,545	1,240,040	2,064,495	1,399,620	
小計	11,182,044	10,164,434	10,700,796	11,982,955	16,329,326	12,491,820	

施設名/月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
文化芸術センター	10,659,406	13,591,233	12,947,773	10,118,550	9,399,183	3,005,689	124,806,289
ローズ文化ホール	1,120,140	1,299,357	1,968,923	15,040	344,359	203,750	12,718,489
小計	11,779,546	14,890,590	14,916,696	10,133,590	9,743,542	3,209,439	137,524,778

(参考) 友の会会費収入一覧 (令和元年4月～令和2年3月)

単位：円

友の会会費収入	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	192,500	94,500	58,000	39,000	39,000	21,000	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	108,000	7,500	60,000	116,000	591,000	231,000	1,557,500